

留学報告書

概要

大学: カリフォルニア大学アーバイン校

期間: 2019年9月から2019年12月まで (学部4年)

アプライまで

4年生での留学は学科の履修制度上多少面倒なこともあったが、学科の担当の先生に相談し、融通を利かせてもらった。(1)アメリカ、(2)工学系以外の授業を履修出来る、(3)英語の要件を満たす、という三つの条件で学校を決めた。

留学決定後

東大と派遣先からの指示に従って手続きを進めた。特に派遣先からのメールはこまめにチェックし、すぐに手続きを開始した方が良い。私はビザの手続きをサボり続けて、ビザ発行が出発直前になってしまった。(他にもビザがギリギリになった人をたくさん見たので本当にちゃんとやった方がいい。)

予防接種は、日本でやることをお勧めされるが、派遣先では無料で受けられる(日本だと数万円かかる)場合があるので、確認した方が良い。

留学中

授業について

[履修科目]

STU WKSHP JAZZ I (4.0)

INTRO BUSINESS MGMT (4.0)

SOC INEQUAL & HEALTH (4.0)

STUDT PARTICIPATION (1.3)

STUDT PARTICIPATION (1.3)

舞踊学科、社会学、ビジネスの授業を一つずつと、留学生向けのワークショップのような授業を二つ受講した。工学系の授業は履修しなかったため、単位互換は申請していない。

授業によって課題や授業スタイルは大きく異なる。それに伴って課題の大変さもまちまちだった。どの授業にも共通しているのは、先生と生徒の相互のコミュニケーションが活発な

ことである。生徒の発言や質問は歓迎される。課題の量はどの授業もそれなりにあるが、それらにしっかり取り組めば授業の内容は留学生でも十分理解できた。

留学生向けの二つの授業では、アメリカ文化についてディスカッションしたり、学校のリソースについて学んだりした。内容はあまり面白くなかったが、友達を作る場として役立った。

平日はだいたい毎日 5 時間くらい勉強していた。週末は旅行などに行って全く勉強しない週もあった。

生活について

on campus のハウジングに住んでいた。ベッドルームは独立だが、キッチンとバスは 4 人の女子学生でシェアするタイプの部屋だった。学校までは、徒歩でも行けるが、基本は 3~5 分間隔で運行されている無料のシャトルバスを使っていた。

交換留学生の半分くらいは Arroyo Vista の international house に住んでいた。それ以外の学生も、留学生はみな徒歩圏内に暮らしているので、よくお互いの家を行き来していた。

学校の前に小さなショッピングプラザがあり、そこでよくご飯を食べていた。生活用品や食品も基本そこで揃えていた。

車がないとどこにも行けない街なので、はじめのうちは学校と家の往復だったが、後半には現地の友達も増え、車で色々なところに連れて行ってもらった。

留学を終えて

一学期間だけの留学だったため、本当にあっという間だった。英語力に関しては、少しは伸びたと思うが、英語を自由に使いこなせるようになったとは言えない。ただ、現地で履修した授業のトピックに関しての理解はかなり深まった。

アルバイトやサークルから一旦離れ、勉強だけに集中する環境は私にとってとても新鮮で、辛くもあり楽しくもあった。自分と向き合う時間が多く、自分の将来のことをじっくり考える良い機会にもなった。留学中の出会いを大切にしつつ、留学で得た様々な学びをこれからの生活に活かしていきたい。



新歓イベント



キャンパス①



キャンパス②



友達と作った料理



インターナショナルセンターのトリップ



授業